

うらさと

コミュニティスクール
浦里小学校だより

R3. 3.17 NO. 11

文責 片桐芳之

令和2年度が終わります

< 3 / 17 終業式での校長講話より >

新型コロナのために本当に大変な1年でしたが、今日で令和2年度3学期の学習活動が終了します。3学期は47（46）日間、4月から合計すると186（185）日間の学校生活でした。この1年気持ちよい挨拶を自分からする人が多くなりました。朝、自分からあいさつできる人が増えました。はっきりとした声であいさつできる人が増えました。下校する時には、職員室や校長室、事務室をノックして、自分から気持ちよく「さようならー」といって帰っていく人がたくさんいます。元気を与えられます。お客さんがいるとその人達も「あいさつしてくれてうれしいですねー」とおっしゃってくれます。これからも浦里小学校のよき伝統にしていきましょう。

今日学級担任の先生から通知表「あゆみ」をいただきますね。「あゆみ」を見て1年間の自分の成長を確かめて下さい。1年生は1年生として学んだこと、2年生は2年生で学んだこと・・・それは漢字を覚えたり、計算ができるようになったりすることももちろん大事ですが、いろいろな問題に突き当たった時に、自分で考えたり、他の人と相談したり、協力したりしながら取り組んでいくことができるようになることも同じように大切なことなのです。

でも「あゆみ」だけに表せない一人ひとりのみなさんの「心の通知票」もあります。「心の通知票」をだれがつけるのかと言うとそれは、先生でも友達でも親でもない。それは自分自身です。なぜなら心は人には見えないからです。

1年間の自分を振り返ってみてください。「心の通知票」の付け方の規準を言いますね。

1つ目は、よりよい自分をめざして毎日を送ることができたかどうかということです。授業は真剣に受けることができましたか。清掃や給食準備は協力してできましたか。係や委員会の仕事を自分から一人でも取り組みましたか。

2つ目は、友達を大切にしたり、人の気持ちを考えることができたかどうかです。自分だけよければいい、人は関係ないなんて思っていないませんでしたか。不満があると友達や先生にすぐにトゲトゲ言葉をぶついたりしませんでしたか。

この1年間の「心の通知票」にみなさんは◎をつけますか。それとも○ですか。それとも△がついてしまいますか。◎がつけられなかった人でも授業や勉強を頑張って成績を上げることができるように、ちょっと心がけを変えて自分に厳しく、人には優しくするだけで、こころの成績も変わってくるのです。4月からは皆さんは学年が1つずつ上がります。勉強も1つ上の学年の勉強が始まります。春休みには、学年が上がる心構えをしっかりと作っておきましょう。そして、心の通知表にも◎がつくように、自分がかんばることを決めておきましょう。

明日は卒業式 6年生が浦里小学校を巣立つ日です。先日の「6年生を送る会」では感謝の言葉、思い出、6年生からのメッセージを交換できました。すてきな会でした。1年生から5年生の皆さんは卒業式には出られませんが、6年生の卒業をみんなの心の中でお祝いしましょう。

1年間浦里小学校へのご協力ありがとうございました



1年生 10名



2年生 8名



3年生 9名



4年生 12名



5年生 7名



6年生 5名

令和2年度末の職員の異動をお知らせします

本年度末をもって、浦里小学校から4名の職員が転出・退職いたします。保護者の皆様・地域の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。